

〇年 〇月 〇日

（宛先）高松市長

届出者 住 所 〇〇県〇〇市〇〇町××－×
氏 名 株式会社△△△△
代表取締役 〇〇〇〇

指 定 施 設 ~~設 置~~ 届 出 書

高松市公害防止条例第8条の規定により、指定施設について次のとおり届けます。

工 場 等 の 名 称	株式会社△△△△ 高松工場				
工 場 等 の 所 在 地	高松市〇〇町××－×				
設 置（予 定）日	〇年 〇月 〇日				
指 定 施 設 の 分 類	ば い 煙	粉 じ ん	騒 音	地 盤 沈 下	
指 定 施 設 の 種 類 及 び 数 量	別紙1及び 紙2のとおり 該当する指定施設の分類 を○で囲んでください。 別紙8のとおり				別紙8のとおり
指 定 施 設 の 構 造					
指 定 施 設 の 使 用 及 び 管 理 の 方 法 等					
※ 整理番号		※ 受 理	年 月 日	※ 審 査 結 果	

備考

- 1 届出書の提出部数は2部とすること。
- 2 指定施設の分類の欄に該当する項目を○で囲むこと。
- 3 変更届の場合は、変更前を青色又は黒色、変更後を赤色で対照すること。
- 4 ※印の欄は記載しないこと。

指定施設（設置、変更）届出書には下記添付書類の添付をお願いします。

- ・ 付近見取り図、施設の配置図
- ・ 施設の能力がわかるカタログ等の該当部分

別紙 1

ばい煙発生施設の構造

指 定 施 設 番 号	3 廃棄物焼却炉	
名 称 及 び 型 式	〇〇製〇〇型〇〇	
設 置 日	年 月 日	年 月 日
着 手 (予 定) 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
使 用 開 始 (予 定) 日	〇年 〇月 〇日	年 月 日
規 模	燃 料 の 燃 焼 能 力 (重油換算 L/h)	
	原 料 の 処 理 能 力 (t/h)	
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	
	変圧器の定格容量 (kVA)	
	焼 却 能 力 (kg/h)	〇〇〇

備考

- 1 設置届出の場合には着手（予定）日及び使用開始（予定）日の欄に、変更届出の場合には設置日、着手（予定）日及び使用開始（予定）日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、高松市公害防止条例施行規則別表第3 A欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。

別紙 2

ばい煙発生施設及び処理施設の使用の方法

指 定 施 設 番 号			3 廃棄物焼却炉		
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等		○時～ ○時 ○月／ ○日		時～ 時 月／ 日
	季 節 変 動		なし		
原 材 料 (ばい煙の 発生に影響 のあるもの に限る。)	種 類				
	使 用 割 合				
	原材料中の成分割合(%)		カドミウム分 鉛 分 フ 素 分		カドミウム分 鉛 分 フ 素 分
	1 日 の 使 用 量				
燃 料 又 は 電 力	種 類		A 重油		
	燃料中の成分割合(%)		灰 分 ○		灰 分
	発 熱 量				
	通常の使用量 (L/h)		○○		
	混 焼 割 合		専燃		
排出ガス量 (m³/h)			湿 り	最大○○ 通常○○	最大 通常
			乾 き	最大○○ 通常○○	最大 通常
ば い 煙 濃 度	ば い じ ん (g/m³)		最大○○ 通常○○		最大 通常
処理施設 の処理能力	排出ガス量 (m³/h)		最 大	○○	
			通 常	○○	
	ばい煙濃度	ばいじん (g/m³)	処理前	○○	}
			処理後	○○	
参考事項					

煙突のみの場合は空欄で結構です。その他の処理施設がある場合に記載してください。

備考

- 1 原材料中の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 排出ガス量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態(この項において「標準状態」という。)における量に、ばい煙濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。
- 3 ばい煙濃度は、乾きガス濃度とすること。
- 4 ばい煙濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 参考事項の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。
- 6 ばい煙処理施設の構造図を添付すること。

別紙 3

粉じんに係る指定施設（金属加工用ブラスト、打綿機及び
混打綿機）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号		3 金属加工用ブラスト	
名 称 及 び 型 式		〇〇製〇〇型〇〇	
規 模	原 動 機 の 定 格 出 力 (KW)	〇〇	
	処 理 能 力 (t / 時 間)	〇〇	
通常の月間処理量 (t / 月)		〇〇	
使 用 及 び 管 理 の 方 法	指定施設が設置されている建物の概要		鉄骨スレート葺き建屋
	集 じ ん 機	種 類 、 型 式	バグフィルター 〇〇型〇
		集じん効率 (%)	〇〇
		原 動 機 出 力 (KW)	〇〇
	防じんカバーの設置 状況		アーチ型トタン張り
	密 閉 施 設 の 状 況		
	そ の 他 の 方 法		逆洗時には、シュート部に 散水を行う。

備考 その他の方法の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙 4

粉じんに係る指定施設（集じん装置）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号		1 集じん装置	
名 称 及 び 型 式		バグフィルター○型○○	
集 じ ん 物 の 種 類			
湿 式 、 乾 式 の 別		湿 式 ○乾 式	湿 式 乾 式
規 模	原動機出力（KW）	○○	
	集 じ ん 効 率 （ % ）	○○	
	集じん能力（t/日）	○○	
設 置	場 所	屋 外 ○屋 内	屋 外 屋 内
	場所の高さ（地上m）	○○	
使用 及 び 管 理 の 方 法	防 じ ん 施 設 の 設 置 状 況		
	集じん物の処理状況	袋詰め 原料として再利用	

備考 湿式、乾式の別及び設置場所の欄については、該当する項目を○で囲むこと。

別紙 5

粉じんに係る指定施設（コンベア）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号		4 ベルトコンベア	
名 称 及 び 型 式		〇〇製〇型〇	
規 模	ベルト幅（cm）又はバケット内容積（m ³ ）	〇〇 cm	
	単 基 の 長 さ（m）× 基 数	〇〇m × 〇基	
	ベルト又はバケットの速度（m/分）	〇〇 m/分	
	運 搬 能 力（t/時間）	〇〇 t/h	
運搬物の種類、性状及び通常の間月間運搬量（t/月）		川砂、川砂利 〇〇 t/月	
使 用 及 び 管 理 の 方 法	コンベアがその中に設置されている建築物の概要		
	集 じん 機	種 類 、 型 式	
		集 じ ん 効 率（%）	
		原 動 機 出 力（KW）	
	散 水 設 備	装 置 の 種 類 、 型 式	
		装 置 の 能 力（m ³ /時間）	
		運搬量当たり散水量（m ³ /時間）	
	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況		鉄板製フード
	そ の 他 の 方 法		

備考 その他の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙 6

粉じんに係る指定施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法等

指 定 施 設 番 号		2 堆積場	
名 称 及 び 型 式		コークス堆積場 (方形カバー方式)	
規 模	面 積 (㎡)	〇〇	
	堆 積 能 力 (t)	〇〇	
堆積場の種類、性状及び通常の年間延べ堆積量 (t/年)		コークス、粒径〇〇以下 堆積量〇〇t/年	
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置されている建築物の概要		スレート葺き屋根 四方開放
	散 水	装 置 の 種 類 、 型 式 、 基 数	スプレーノズル〇基
		装 置 の 能 力 (m ³ /時間)	〇〇
		散 水 の 方 法	1 回/日
	防 じ ん カ バ ー の 設 置 状 況		スレート葺き屋根 ビニールシート
	薬 液 散 布	薬 液 の 種 類 、 名 称	防じん剤、〇〇社製
		装 置 の 種 類 、 型 式 、 基 数	スプレーノズル〇基
		装 置 の 能 力 (m ³ /時間)	〇 m ³ /日
		散 布 の 方 法	散水に混合
	締 固 め	装 置 の 種 類 、 型 式	ブルドーザー
		方 法	随時
	そ の 他 の 方 法		

備考

- 1 散水、薬剤散布及び締固めの欄については、実施の量、実施の頻度等を記載すること。
- 2 その他の欄については、記載の方法以外の措置を講じている場合、その措置の状況について記載すること。

別紙 7

騒音に係る指定施設の種類ごとの数等

指 定 施 設 の 種 類			型 式	公称能力 (KW)	数	使 用 時 間	
施設番号	記 号	名 称				開 始 (時分)	終 了 (時分)
1	(4)	液圧プレス	〇〇	5	2	9 : 0 0	1 5 : 0 0
1	(6)	せん断機	〇〇	3	1	9 : 0 0	1 5 : 0 0
2		空気圧縮機	〇〇	3	1	9 : 0 0	1 5 : 0 0
3		磨砕機	〇〇	7 . 5	2	9 : 0 0	1 5 : 0 0
7	(5)	丸のこ盤	〇〇	2	1	1 0 : 0 0	1 6 : 0 0
2 0		冷凍機	〇〇	5	1	9 : 0 0	1 5 : 0 0

騒音防止の方法

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

工 場 等 建 物 の 構 造						塀 の 構 造	
	壁	屋 根	窓	扉	床	材 質	
材 質						長さ (m)	
厚さ (mm)						高さ (m)	
						厚さ (cm)	

備考 指定施設の種類の欄には、高松市公害防止条例施行規則別表第 2 に掲げる施設番号、記号及び名称を記載すること。

別紙 8

地盤沈下に係る指定施設の種類、数等

指 定 施 設 番 号		1 地下水採取用揚水機	
井 戸	さ く 井 (年月日)	〇年〇月〇日	年 月 日
	深 度 (地表面下m)	〇〇	
	口 径 (cm)	〇〇	
	ストレーナの位置 (地表面下m)		
揚 水 機	種 類 、 名 称 、 型 式	〇〇製〇〇型〇〇	
	原 動 機 の 出 力 (KW)	〇〇	
	吐 出 口 の 断 面 積 (cm ²)	〇〇	
	揚 水 能 力 (m ³ /時間)	〇〇	
揚 水 状 況	1 日 の 揚 水 時 間	〇 時 ～ 〇 時	時 ～ 時
	1 か 月 間 の 揚 水 日 数 (日)	〇〇	
	1 日 平 均 の 揚 水 量 (m ³)	〇〇	
	季 節 の 変 動	なし	
用 途 別 使 用 量	〇〇用水 (m ³ /日)	〇〇	
	〇〇用水 (m ³ /日)	〇〇	
	(m ³ /日)		
	(m ³ /日)		
地 下 水 位	静 止 水 位 (地表面下m)		
	揚 水 水 位 (地表面下m)		

備考

- 1 季節の変動がある場合は、揚水の期間を記載すること。
- 2 用途別使用量は、具体的に記載すること。
- 3 用途別使用量が2以上ある場合は、その合計量が1日平均の揚水量と一致すること。